

## 令和6年度 芸術科 「美術Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1学年 1・2・3・4・5・6・7・8組選択者
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	鉛筆・アクリルガッシュ・牛皮革など

### 1 学習の到達目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>
--

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1 学期	4	・美術とは何か	・鑑賞	1. オリエンテーション ・美術科での授業の受け方や評価の方法などを理解し、学習内容について関心を持つ。 ・芯の出し方、カッターナイフの正しい使い方を知り、鉛筆を削る。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	5	・人物を描く ・鉛筆デッサン	・絵画 ・鑑賞	2. 鉛筆による自画像 ・ルビンの壺を描き、観察することについて考える。 ・対象を逆さまに見て描くことで、観察して描く意識を高める。 ・スケールの入った鏡に写した自分の顔を全体と部分を深く観察して描き、観察して描く意識を深める。	
	6				
	7	・ポスターで伝える ・文字の基本 ・アクリル絵の具の可能性	・デザイン ・鑑賞  ・デザイン ・鑑賞	3. 鉛筆によるレタリング ・ビジュアルデザインで重要な和文の書体（明朝体・ゴシック体）、と欧文の書体（ローマン体・サンセリフ体）で春・夏・秋・冬の文字を描きレタリングの文字の特徴を理解する  4. アクリルガッシュによるレタリング ・描いた和文と欧文の文字を、B4パネルに、文字が重なりあうようにバランスを考えて配置する。 ・アクリルガッシュ絵具の使い方を知り、文字の重なりが透明感を感じさせるよう彩色をする。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2 学期	9	・人物を描く ・色彩	・絵画 ・鑑賞	5. ポスタリゼーション ・雑誌やインターネットなどを利用し、描きたいモチーフをさがす。 ・B4版にモノクロプリントした写真を5～6段階の明度差にわけて分割した線を、パネルに写す。 ・5～6段階の明度差に分けた顔を、明度段階は変えず色相・彩度など全体の配色効果を考え彩色する。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	10				
	11	・生活を彩る模様	・デザイン ・鑑賞	6. レザークラフト（コースター） ・日常でよく使われているクラフト製品の素材の一つである牛皮革を使ったデザインや加工の方法を知る。 ・刻印棒を使ったスタンピング模様を効果的に生かして、コースターを製作する。	
	12				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	・暮らしの中の使うデザイン	・デザイン ・鑑賞	6. レザークラフト（しおり・小銭入れ） ・凸版・凹版の表現の効果の違いを考えアイデアスケッチし、構想をまとめる。 ・アイデアスケッチをもとに、表現効果を生かして版を作る。 ・地染め・染め分け・刷りこみ等の染色技法や、アクリル絵の具を効果的に使い、皮革に彩色する。 ・しおり・小銭入れを使用できるように仕上げる。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	2				
	3				

### 3 評価の観点

知識・技能	美術作品などの表現の工夫や美術文化について理解している。 創造的な美術の表現をするための基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的に表現しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能…制作過程、完成作品 思考・判断・表現…制作過程、完成作品、ワークシート 主体的に学習に取り組む態度…発言内容、ワークシート、感想カード 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

美術 I では高校美術の基礎を学びます。定期考査のかわりに、完成作品が評価に大きく影響します。作品の未完成・未提出が一切ないように、授業時間内で作品を仕上げられるように頑張ってください。また、移動教室ですので遅刻のないようにしてください。色々な道具や材料を使って制作します。それぞれ大切に扱ってください。授業への積極的な参加、前向きな姿勢を期待しています。
--